

平和を守っていく努力続けたい

島根平和遺族会が結成総会

「平和を願い戦争に反対する島根戦没者遺族の会」(島根平和遺族会)はこのほど、松江市内で結



成総会を開き、約60人が参加しました。山崎長穂(ひさほ)さん(80)が経過報告し、「戦争前夜を彷彿させるような敵基地攻撃能力や軍備増強が強行されようとしている。戦没者の遺言とも言える憲法9条を守り、生かし、平和な世界をつくる先頭に立つ時」と強調しました。日本共産党の尾村利成、大國陽介の両県議、民主県民クラブ幹事長の白石恵子県議、県健康福

祉部の安食治外部長らが参加し、激励しました。(写真) 戦没者遺族4人が発言し、「平和が音を立てて崩れようとしている。平和な国を守っていく努力を続けたい」などと語りました。

「岸田大軍拡」学習交流会のご案内

学ぼう、伝えよう、運動広げよう

日本共産党中国ブロック事務所が「戦争への道許さない! オンライン学習交流会」を企画しました。(写真) 5年間で43兆円もの予算を軍事費に使い、暮

らしと平和をおびやかす岸田政権の大軍拡計画。戦闘機の飛来・爆音はますます激しく、広島湾で突然、日米大型艦船の出撃訓練が——私たちの身近な町で、中国地方で

代表役員に選出された岩田憲昌(としまさ)世話人代表(86)は、「会員を増やし、交流を深めながら反戦の声を発信していきたい」とあいさつ。講演会や語り部活動、慰霊事業に取り組むなどの活動方針を決めました。

戦争への道許さない! オンライン学習交流会

2023 6/17(土) 10:30~12:00 岸田大軍拡はすでにこの中国地方でも始まっています。各地で進む戦争への準備。講師の話や岩国、呉、鳥取の報告から現状を学びます。各地からの報告 岩国 呉 鳥取 YouTubeから視聴できます https://youtu.be/9dx8hUV1K1k

日米の基地がこれからどう変わり、何が行われようとしているのか。現場からの報告や、国と全国各地の動き、世界の流れまで網羅する講演を学ぶ企画です。

YouTubeでライブ配信します。どなたでも無料で視聴できますので、ぜひご覧ください。 https://www.youtube.com/live/9dx8hUV1K1k?feature=share

- 日時 6月17日(土) 午前10時半~12時
- 講師 小泉親司さん(日本共産党中央委員会基地対策委員会責任者)
- 司会 大平喜信さん(元衆院議員・衆院比例中国ブロック予定候補)
- 各地からの報告 岩国、呉、鳥取など

党島根県委員会Facebook、Twitterのフォローを

日本共産党島根県委員会は、Facebook ページとTwitter を開設しています。島根県委員会からのお知らせや県内の地方議員の活動などをアップしています。スマホで下記のQRコードを読み込んで、ぜひフォローしてください。

島根県委員会 Facebook ページ →



島根県委員会 Twitter →



つないだ手を離さない

入管法改悪NOの怒りが国会を包み、デモやスタンディングが全国100箇所広がるな



参院議員(弁護士)

にひ そうへい 西南の風

か、岸田内閣と自公維民は、審議するほどに崩れていく立法事実を蓋をし、強行可決しました。ウイシユマさんをはじめ拷問のような入管収容中の死。仕事も医療も認めない仮放免。構造的な人権侵害の闇のなかには「送還ありき」のノルマまであったのです。さらに私たちは、庇護を求める難民の話も聞かず、まるでベルトコンベア式に強制送還してきた実態を暴きつつありました。与党は強引に審議を打ち切りましたが、数で決めてはならないことがあります。断じて許さず闘いを発



参院本会議で討論する仁比氏(6月2日)

展させましょう。人権と人道に反する日本の入管行政の源流には、戦前の植民地支配、戦後の在日朝鮮人排斥の歴史があります。1982年によりやく、難民条約を批准した後も、入管職員の研修教材には「我が国は日本人だけで非常に高度の和と能力の結実です。日本共産党は、とくに若い世代が迫害や人権侵害、生活と家族をバラバラにされる非正規滞在当事者の恐怖に心を寄せ、「つないだ手を絶対に離さない」と訴えた決意を共にし、これからも頑張り続けます。(6月10日記)

地域の話題

岸田大軍拡反対を 上代議員が要望

上代議員「いま進められている岸田政権の軍備拡大路線は「専守防衛」という戦後の日本の安全保障政策の大転換をもたらすものであり、軍事費・防衛予算を5年間で43兆円も支出することになれば、増税や社会保障の切り捨てで暮らしも平和も破壊される。市長として毅然と反対することを求める。

石飛市長「外交努力も大切だが、防衛力強化は必要状況。この度の防衛力強化は、日本が自ら戦争を仕掛けるためのものではなく、他国に戦争を仕掛けさせないためだと認識し

ている。雲南市が求める国際平和の確保に反するものではないと考えている。「上代かずみの議会だより」より)

子ども医療費助成 中学生入院外対象に

今年10月の診療分からは、小学生・中学生ともに、自己負担額は入院が1割負担(限度額月2000円)、入院外(通院・薬局等)も1割負担(限度額月1000円、薬局等は無料)となります。現在、中学生の通院は自己負担3割のため、支援策が一步前進しました。「子ども医療費を中学校卒業まで無料にして」との願い実現に向け、引き続き

アソコ

江津 非正規職員の声聞け 森川議員が要求

「3月末で雇用が切られるのではないか」との非正規職員の方からの訴えを受けて質問しました。現在、市職員の内訳は、総数約400人、そのうち非正規職員が約130人と32%を超えています。非正規職員のみなさんの労働条件を改善することは大変重要な課題です。将来の人口減少を見越して、人員削減ありきで非正規職員をその調整弁にすることは、市の人口、交流人口を増やそう、人口を維持しようという目標「総合戦略」のテーマにも矛盾しています。(森川よしひでの議会だより)より)